

農業会議だより

第3号(平成28年9月) 発行:一般社団法人佐賀県農業会議

1. 第1回農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を開催
2. 農地パトロール(利用状況調査)の確実な実施
3. 農業簿記講習会を開催
4. 農業者年金制度の周知と加入推進
5. 平成28年度全国農業新聞の普及・推進
6. 常設審議委員会の結果(平成28年7月・8月)
7. 今後の行事予定

1. 第1回農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を開催

農業会議(会長:坂井邦夫)は7月20日、神崎市において「第1回農業委員・農地利用最適化推進委員研修会」を開催し、約450名が出席されました。

坂井会長のあいさつに続き、研修会では、まず「農業を巡る情勢の変化と農業委員会の役割について」と題して、NHK解説委員の合瀬宏毅氏が講演。

日本農業の特徴について、日照時間や気温など不利な栽培環境を克服し効率的な農業を確立しているオランダと比較し、生産性はトマト・キュウリなどで約8倍から13倍も違うと指摘。農地集積を徹底し、環境制御を備えた施設園芸を推進して世界第2位の農産物輸出国となっているオランダ農業の現状を紹介。

日本農業の生産性を向上させるためには、まず担い手への農地集積が重要であり、そのためには農業委員と農地利用最適化推進委員による地域に密着した相談活動が大事と言及。

最後に日本農業の推進に向けた具体的な方策として、“農業の可能性を拡げる6次産業化等への取り組みの推進”、“農業における女性や若者の活躍の場の拡大”、“棚田や食文化などの地域資源の活用推進”などをあげ、「農業委員会等に関する法律」の改正により新体制への移行の最中であるが、農業委員と新たに設置された農地利用最適化推進委員の役割は極めて重要とエール。

その後、事務局から、農業委員会の改革の経緯と農業委員の選出方法の変更、農地利用最適化推進委員の新設などの農業委員会法の改正点について、さらに今年度から新たに制度化された遊休農地の課税強化への対応には、農業委員による農地パトロール(利用状況調査)と利用意向調査の確実な実施が重要と力説。



農地パトロール 強化月間

2. 農地利用状況調査の確実な実施

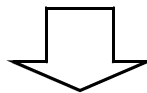
農業委員会系統組織は農地制度の適正執行や農地の有効活用の促進を図ってきましたが、遊休農地面積（平成26年時点で全国27万3千ha、佐賀県4千4百ha）の解消が喫緊の課題であることを踏まえ、地域の農地利用の総点検（農地パトロール）に取り組んできました。



そのような中、平成28年4月に「農業委員会等に関する法律」の改正が施行され、農地利用の最適化が必須業務となり、農地の有効活用、とりわけ遊休農地の発生防止と解消については、これまで以上の取り組みが求められています。

農地パトロール（利用状況調査）の目的は、農地利用の確認、遊休農地の把握と発生防止・解消、無断転用の発生防止・早期発見等です。

特に、本年度から遊休農地の課税強化の措置が実施されることもあり、農地パトロールの重要性が以前にも増しているため、確実な取り組みをお願いします。



※遊休農地の課税強化については、農地中間管理機構への貸し付け意思を表明せず、自ら耕作の再開も行わないなど、遊休農地を放置している場合に限定されます。

※前年度の利用意向調査において、「自ら耕作」や「他者への貸付け」などの意向を示した場合には、次年度の農地パトロール（利用状況調査）で確認することとなっています。

平成29年1月1日時点で、農地中間管理機構と協議の勧告が行われている場合に遊休農地所有者への固定資産税の課税が強化(1.8倍)されます。

農地法に規定 利用状況調査と利用意向調査

(1)利用状況調査（農地法第30条）

「年1回管内の全農地の利用状況を調査（農地パトロール）」

(2)利用意向調査（農地法第32条）

「利用状況調査後、遊休農地の所有者に利用意向を調査」

3. 農業簿記講習会を開催

農産物価格の低迷や農業資材等の高騰などにより、農業経営が圧迫される中、経営感覚に優れた農業者の育成・支援を目的として、8月3日～9月6日の5日に亘って「複式農業簿記講習会」を開催しています。



受講者22名全員が複式簿記未経験者、かつ青色申告未経験者ですが、聞き慣れない用語に戸惑いながらも懸命に取り組まれています。毎回の講義やパソコンを使っの日常取引の仕訳等を通して、自らの経営を的確に把握するためには、収支のみならず、現金・預金等財産の増減まで併せて記帳する複式簿記が必要だと実感されたことと思います。受講者には昨年度「しろいし農業塾」に応募し、県外より新規就農された4名の方もおられ、自らの農業形態に照らし積極的に質問をするなど、意欲的に学ぼうとする姿が見られます。

受講者の方が、今後複式簿記での記帳を実践され、経営改善・経営発展につなげていただければ幸いです。

＜講習会で使用 ～全国農業図書＞

多くの仕訳例を掲載。
記帳のイロハから実
務まで網羅した一冊。

図書コード 27-22
定価 1,650円
規格 A4・128頁



ソリマチ(株)の農業簿
記ソフト「農業簿記9」
に対応したパソコン簿
記の演習用テキスト。

図書コード 25-43
定価 2,880円
規格 A4・163頁



【平成28年度 農業簿記講習会カリキュラム】

回 数	講 習 内 容	
1	座学	《複式簿記の基本》 ○簿記の概要と役割（なぜ複式簿記か？） ○貸借対照表と損益計算書 ○取引の8要素
2	P C	《記帳開始時の演習》 ○期首貸借対照表の作成 ○減価償却資産の登録 《仕分の演習》 ―日常取引の記帳― ○現金の入出金 ○預金の入出金 ○事業主貸・借 ○売掛金・買掛金 ○専従者給与と源泉預かり
3		
4		
5		《決算》 ○決算修正の取引（減価償却費、棚卸等） ○青色申告決算書の作成 ○記帳結果（貸借対照表と損益計算書） と青色申告決算書との照合

4. 農業者年金制度の周知と加入推進

農業者年金で老後の生活をサポート

《特徴》

- ① 少子高齢化に強い積立方式の年金
- ② 保険料は月額2万円～6万7千円まで千円単位で選択
- ③ 認定農業者など一定の条件を満たす方は保険料の国庫補助(最大月額1万円)あり
- ④ 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象
- ⑤ 終身年金
仮に80歳前に亡くなった場合は遺族に死亡一時金を支給

○ 28年度加入目標

59人

○ 28年4月～7月新規加入者(達成率) 14人(24%)

(新規加入の内訳)

佐賀市(6人)、神埼市(1人)、唐津市(2人)、伊万里市(2人)
江北町(1人)、白石町(1人)、鹿島市(1人)

※他市町は、新規加入者ゼロ

目標達成に向け、計画的な取組みを!!

5. 全国農業新聞の普及・推進

第87回農業会議通常総会で平成30年度末までに

普及目標 “2,000部” 達成への3ヵ年計画を決定

全農業委員・推進委員が
一体となって普及推進の強化を!!

平成28年度

普及目標 1,800部

8月現在 1,545部

※依然として120部減

3月部数 1,665部

3月からの増部市町…太良町(2部)

農業者への情報提供は農業委員・推進委員の役割

6. 常設審議委員会結果（H28年7月・8月）

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構に意見を求められた案件について、常設審議委員会において審議しました。第4回及び第5回の件数及び面積、4月からの累計件数については以下のとおりです。

<農地法関係処理状況>

○許可権者別件数及び農地区分別件数

回数	開催日	区分	件数 (30a超)	権限移譲		知事許可
				佐賀市	みやき町	
第4回	7月15日	第4条	1(1)	0	0	1(1)
		第5条	9(7)	1(1)	0	8(6)
第5回	8月17日	第4条	2(1)	0	0	2(1)
		第5条	9(8)	4(3)	2(2)	3(3)
4月からの累計		第4条	5(4)	0	0	5(4)
		第5条	43(33)	13(9)	4(3)	26(21)

○田畑別件数及び面積

回数	開催日	区分	田		畑		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第4回	7月15日	第4条	0	—	1	4,063	1	4,063
		第5条	7	162,733	4	15,850	11	178,583
第5回	8月17日	第4条	1	1,457	1	4,365	2	5,822
		第5条	6	46,687	5	34,326	11	81,013

7. 今後の行事予定

月	日	時間	場 所	内 容
9	2	10:00	唐津総合庁舎	集落営農法人化相談会(東西松浦地区)
	6	13:30	アバンセ	第5回農業簿記講習会
	7	10:00	三神普及センター	集落営農法人化相談会(三神地区)
	8～9	13:30	大分市	九州・沖縄ブロック女性農業委員研修会
	15	13:30	グランデはがくれ	第6回常設審議委員会
	30	13:30	上峰町役場	農業委員会職員地区別研修会(三神地区)
10	7	13:30	武雄市役所	農業委員会職員地区別研修会(杵藤地区)
	17	13:30	グランデはがくれ	第7回常設審議委員会
	19～20	13:30	徳島市	西日本ブロック農業委員会職員現地研究会
11	1～2	13:30	長崎市	九州・沖縄地区農業法人シンポジウム
	10～11	13:00	岐阜市	第19回全国担い手サミット in ぎふ
	15	13:30	グランデはがくれ	第7回常設審議委員会
	30～ 12/1	13:00	東京都砂防会館	農業者年金加入推進セミナー 全国農業委員会会長代表者集会